

[令和5年度日本赤十字社鳥取県支部活動資金について]

日本赤十字社と赤十字活動

日本赤十字社法という法律に基づいて設置された認可法人として事業を実施しておりますがその中立性と独立性が強く求められていることから税金等の公的資金や国や県等からの補助金ではなく、個人・法人等の皆様からお寄せいただいた社資（活動資金）をもとに活動を展開させていただいております。  
**災害発生時に寄せられる義援金は全額日本赤十字社を通じて被災した都道府県に送金され都道府県が行う支援施策に活用されることとなっております。**

令和5年度社資（活動資金）収入額 95,902,885円（昨年度 92,728,694円）

【内訳】

- 一般の方から 84,581,026円（この中には県内での赤十字活動に使用できない金額も含まれています）
- 企業・団体の方から 11,321,859円 このほかに日本赤十字社本社から事業の取組み状況に応じた交付金 9,213,672円や海外救援金受入れにかかる繰入金 222,000円、前年度繰越金 50,439,603円、委託金等収入 136,854円、雑収入 1,704,421円があり令和5年度歳入の総額としては 157,619,435円となりました。皆さま本当に有難うございました。



【活動資金の主な使い道について】

国内の災害対応のために【令和5年度：16,808,958円】

あらゆる状況下でも確実に活動できる災害救護体制の整備のため、国、県及び日赤の主催する訓練・研修へ参加したほか鳥取県支部の計画した研修も実施しました。（計18回）令和5年8月に発生した台風7号災害（佐治町）では赤十字奉仕団が被災地で「救援物資」の仕分けや配付をしたり、被災した地域の赤十字奉仕団に代わって隣町の赤十字奉仕団がお弁当作りを行うなど普段からの連携した災害時活動が役に立ち、災害ボランティアセンターでの活動にも奉仕団として初めて携わらせていただきました。



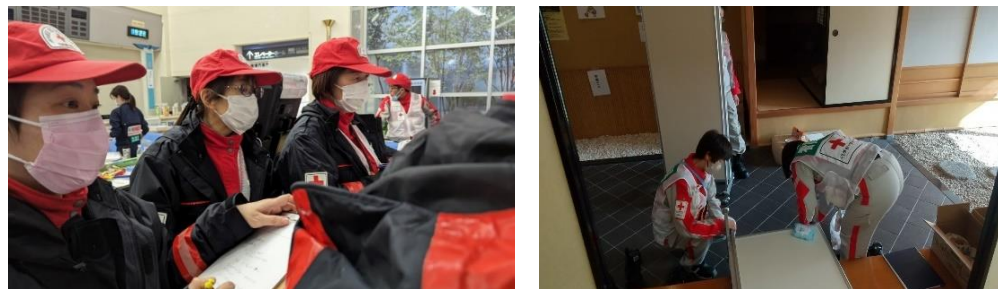
【令和5年台風7号災害で活動するボランティア（職員）：左から 弁当作り、弁当のデザート作り、災害ボランティアセンターでの受付、佐治町支所での物資配布、関係機関との協議、現地で活動するボランティア向けの熱中症予防講座の実施】  
 また、令和6年能登半島地震災害に対しても、赤十字救護班の医療チーム等を現地に計9回派遣し、現地での被災者支援の活動を切れ目なく行いました。

「守る」を広める活動のために【令和5年度：7,806,443円】

心肺蘇生とAEDの使い方を学んでいただける救急法をはじめ、一般の方でもできる4種類の講習普及事業を展開しました。特にAEDを使った1時間程度の短い時間の講習は、**地域住民（自治会・町内会）の皆さまを中心に**（回数118回：人数3,642人）展開させていただきました。  
 また、地域防災力向上のために推進している「赤十字防災セミナー」も昨年度に比べ202人多い469名の方に受講していただきました。

ボランティアの活動支援のために【令和5年度：10,866,851円】

特に昨年度協定を締結した明治安田様と健康増進イベントを展開しました。



【輪島市で活動する鳥取県支部救護班】

【七尾市内避難所でのこころのケア開設準備】



【モンゴル赤十字社メンバーとのカードの交換】 【健康増進イベント（河原町内）】

このほかにも以下のような事業にも活用させていただきました。

次代を担う青少年の生きる力を育むための研修の開催や指導者を養成するための研修の実施のほか8年ぶりに海外姉妹社からメンバーを招致し交流事業ほかを行った費用（青少年赤十字活動費 588,591円）、地域包括ケアの充実促進費用（社会福祉活動費：68,340円）、献血思想の普及啓発費用（血液事業費：58,371円）、水害に見舞われる国々へ浄化装置を整備する事業協力等の費用（国際活動費：764,392円）、使途を指定した事業ほかへの費用（指定事業地方振興費 3,222,000円）にも活用させていただきました。

また、この他に赤十字の事務を担っていただいている鳥取県支部各地区区分への交付金支出（地区区分交付金支出：8,772,170円）、赤十字病院への寄付にかかる繰出金（基盤整備交付金・補助金支出：1,020,000円）、災害発生時への準備金等（積立金支出：18,759,768円）、事務局内の管理経費（総務管理費・資産管理費：27,268,963円）、活動資金に応じた本社への送納金（本社送納金支出：13,812,132円）、赤十字活動への理解を深めていただくための県内全戸への広報誌（年1回）配布、赤十字活動を身近に感じてもらうため様々な団体が開催する行事等にも参加した費用（社業振興費：12,579,101円）にも活用させていただき、歳出の総額は122,396,080円となりました。

【日本赤十字社の活動を皆さまの地域で】

鳥取県支部ではこれまでの災害時活動で培った経験から、地域住民の皆様向けにいざという時の「救急法（応急手当の方法）」を紹介しているほか、いつ発生するかわからない災害からご自身や周りの方々の命を守っていただくためにも「赤十字防災セミナー」を強くおすすめしており、年々利用される自治会様が増えております。**非常持出し品シュミレーション、家具安全対策ゲーム（KAG）、ひなんじょたいけん、災害エスノグラフィー（追体験）、災害図上訓練（DIG）など、時間に応じ様々な内容をご用意しています。**ぜひ、地域での防災の取組み等にご活用くださるようお願いいたします。